

I 20年のあゆみ

1 林業センターの設置

昭和11年、県面積の8割を占める林野の経営は、県土の保安並びに県民の経済上至大なる影響を有する、との要望によって、東牟婁郡高池町（現古座川町高池）に和歌山県林業試験場が設立された。爾来、林業生産の増進、森林の公益的機能の充実のための研究業務を鋭意進めてきたが、時代の変遷に伴う経済の高度成長に対応するための林業経営の近代化、林業後継者の育成の必要性と、第28回全国植樹祭お手まき行事の開催を機として、従来の試験研究部門に、林業経営の合理化等時代の要請に即応するための経営調査部門、林業技術者ならびに林業後継者の育成のための研修部門を加えた、和歌山県林業センターが昭和49年4月、現在地に設置された。

その後、昭和61年6月に林業センターと林木育種場が統合され、また木材加工部門が昭和60年度に開始された。多様化する森林林業、木材利用に対応すべく、平成5年4月には試験研究部門の名称が森林環境部、資源利用部に改称され現在に至る。

2 主な行事

年 月	行 事
49. 4	和歌山県林業センター設置
〃 6	研修部、講習課程開始
50. 2	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・更新部会
〃 〃	同上・育種部会
〃 〃	林業技術シンポジウム（新しい造林技術）
〃 5	試験研究部、上富田町へ
〃 9	林業センター研究発表会
〃 10	林業技術シンポジウム（林業経済とボタン材）
〃 〃	海外集団研修・森林造成技術者コース（コロポ計画）
51. 7	林業技術シンポジウム（間伐）
〃 8	紀州備長炭技術保存会・備長窯築窯
〃 12	浩宮徳仁親王殿下御来所
52. 4	第28回全国植樹祭お手まき行事
52. 5	第28回全国植樹祭お手まき行事記念植樹（県の木：ウバメガシ）
52. 10	1日林業センター（新宮市、串本町、美山村、清水町）
〃 〃	林業技術シンポジウム（技打ちと間伐）

53.	1	1日林業センター（美里町、粉河町、高野町）
〃	2	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・保護部会
〃	〃	同上・特産部会（マツタケ共同研究班）
〃	3	第28回全国植樹祭お手まき行事記念碑建設
〃	4	林業センターだより創刊号発刊
〃	9	参議院農林水産委員視察
〃	10	林業技術シンポジウム（施業体系）
54.	3	同上（シイタケ原木林造成）
〃	4	第28回全国植樹祭お手まき行事記念植林（立合川試験林）
56.	3	スギ・ヒノキ優良品種展示場設定
〃	6	第1回基幹林業作業士（グリーンマイスター）研修開始
〃	11	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・経営部会
57.	9	同上・特産部会（シイタケ共同研究班）
58.	2	上富田町田熊地内に試験林を設置
〃	9	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・第36回総会
〃	10	同上・育苗部会
59.	5	林業センター10周年記念行事
61.	6	第1回グリーンワーカー育成研修開始
〃	9	中国山東省林業視察団来所
62.	6	林業センターと林木育種場が統合、和歌山県林業センターとなる
〃	7	林業技術シンポジウム（国際化のチップ産業）
63.	1	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・育林、立地合同部会
1.	3	林業技術シンポジウム（海布丸太の施業と経営）
〃	8	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・林業機械化部会
2.	3	林業技術シンポジウム（山村振興と森林組合の役割）
〃	9	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・特産部会
〃	10	第41回日本林学会関西支部大会（於和歌山市）
3.	3	林業技術シンポジウム（林業の機械化と労働対策）
〃	9	林地肥培協会・林地肥培現地研究会（於日高町）
〃	11	第1回高性能林業機械オペレーター養成研修開始
4.	3	林業技術シンポジウム（木材加工からみた素材）
〃	5	中国山東省荷澤地区農業局来所
5.	1	関西地区林業試験研究機関連絡協議会・育種部会
〃	2	木材加工研究棟設置
〃	3	林業技術シンポジウム（これからの林業機械化について）
〃	4	部名変更、試験研究部を森林環境部、経営調査部を資源利用部に
〃	6	木材加工シンポジウム（木材加工の現状と問題点）
6.	3	林業技術シンポジウム（山村における農林複合経営）